

# れんけい君

## 耳鼻咽喉科

### 「CPAP 遠隔モニタリング診療」のご紹介

当科では、睡眠時無呼吸症候群の治療として、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」を行っています。昨年 12 月からは、患者さんの受診にかかる負担が軽減できるよう、「遠隔モニタリングシステム」を導入いたしました。

#### 「睡眠時無呼吸症候群」とは？

眠っている間に呼吸が止まる病気です。

病気の英語表記である「Sleep Apnea Syndrome」の頭文字をとって、「SAS(サス)」とも呼ばれています。

医学的には、気流停止（気道の空気の流れが止まること）が 10 秒以上続く状態を無呼吸とし、この無呼吸が一晩（7 時間の睡眠中）に 30 回以上、または 1 時間あたりに 5 回以上ある場合、睡眠時無呼吸であるとされています。

睡眠時無呼吸症候群は、眠っている間に自分で気付くことが難しいため、検査や治療を受けておられないケースがあると考えられます。そして、満足な睡眠が得られないことから来る眠気により、判断力や集中力が低下し、仕事の効率や車の運転などに大きな影響を及ぼします。

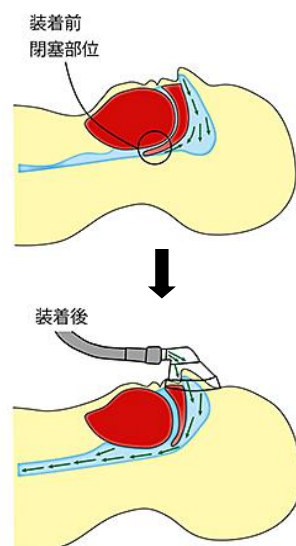


#### 「CPAP(持続陽圧呼吸療法)」とは？

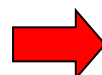
治療法の英語表記である「Continuous Positive Airway Pressure」の頭文字をとって、「CPAP（シーパップ）療法」と呼ばれています。

睡眠時無呼吸症候群の有効な治療方法として、現在欧米や日本国内で最も普及している治療方法です。寝ている間の無呼吸を防ぐためには気道に空気を送り続け、常に開けた状態を保つ必要があります。患者さんには経鼻マスクを着用いただき、CPAP 装置からチューブを経由してマスクへ空気が流れ続けます。その空気が気道へと送り込まれることにより、気道が開いた状態を保ちます。

CPAP の原理



#### 「CPAP 遠隔モニタリング診療」とは？



※裏面をご覧ください。

## 「CPAP 遠隔モニタリング診療」

CPAP 機器の本体には通信機能が内蔵されており、ログデータを抽出することで患者さんが直接来院されなくても使用状況や治療効果を確認することが出来ます。遠隔モニタリング診療では、このデータを用いてお電話で患者さんに使用の状況を確認し、適切な治療指導を行います。これにより、患者さんに病院を **受診いただく回数を減らす**ことができ、**負担軽減**へと繋がります。

### 対象患者さんへのご案内

すいみん し む こきゅうしょうこうぐん  
**睡眠時無呼吸症候群** を治療の方へ

シー パップ

## CPAP（持続陽圧呼吸療法） 遠隔モニタリング診療

が受けられます

CPAP機器からのログデータを、遠隔送信するシステムです。※機器からの抽出は不要です



### 受診頻度 **減**



毎月の受診が  
**3ヶ月毎でOK!**

### 費用負担 **減**



※3割負担の方が1ヶ月に一度（3ヶ月間）  
受診した場合

※睡眠時無呼吸症候群に興味のある方は、  
まずは検査が必要です。  
お気軽に耳鼻咽喉科外来へお尋ねください。

